

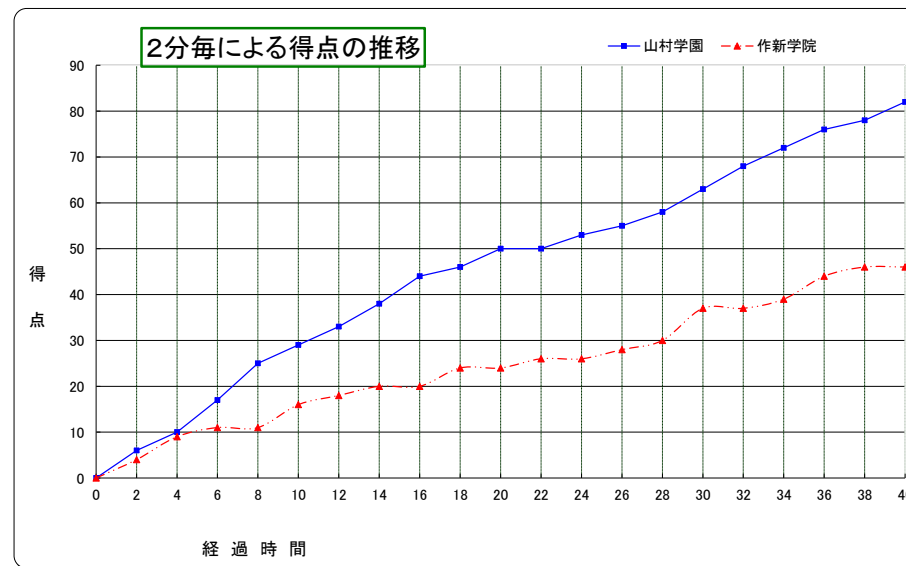
平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月11日(土)
毎日興業アリーナ久喜
女子1回戦 D1

チームA 山村学園 (埼玉)	82	{	<table border="0"> <tr><td>29</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>21</td><td>2nd</td><td>8</td></tr> <tr><td>13</td><td>3rd</td><td>13</td></tr> <tr><td>19</td><td>4th</td><td>9</td></tr> </table>	29	1st	16	21	2nd	8	13	3rd	13	19	4th	9	}	46	チームB 作新学院 (栃木)
29	1st	16																
21	2nd	8																
13	3rd	13																
19	4th	9																

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	木村モニカ	19	0	0	6	14	7	8	1	4	3	1	0	0	0
5	古屋 陽香	7	1	5	2	4	0	0	3	1	1	1	7	0	4
6	佐藤 彩乃	17	0	0	7	15	3	3	0	1	4	1	0	1	2
7	浅野 佑夏	2	0	0	1	6	0	0	1	3	2	2	5	0	5
8	佐坂 明音	8	0	0	4	6	0	1	0	0	4	0	0	0	4
9	市岡 佑梨	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	市川 沙紀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	増田 菜央	24	0	0	12	15	0	0	1	9	6	0	1	0	4
12	岡林 彩花	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
13	加藤 未歩	3	1	2	0	1	0	0	1	0	3	1	3	0	3
14	小林みのり	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	高木 結葉	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	五十嵐珠紀	0													
17	黒岩菜々子	0													
18	遠藤 花瑠	0													
コーチ	下田 宏吉														
		82	2	9	33	65	10	12	7	18	24	6	16	1	23
		確率	22.2%		50.8%		83.3%			計 42					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	丸山 美怜	15	1	6	5	12	2	2	3	1	3	7	6	1	8
5	江泉 綾佳	3	1	3	0	5	0	0	2	1	0	2	1	0	3
6	須永 麻美	11	1	3	4	9	0	0	4	3	4	2	1	2	1
7	吉田真由香	11	1	7	4	7	0	0	4	1	1	2	2	0	2
8	渡邊 愛実	4	0	1	2	4	0	0	2	0	2	1	0	0	2
9	小野 愛実	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10	和気 咲蘭	0													
11	伴 美波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
12	篠塚 幸希	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	大内結莉愛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	吉川 怜奈	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
15	荒川 花音	2	0	0	1	2	0	0	2	1	0	1	0	0	0
16	都竹 聖夢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	箱石奈津実	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	本田 楓	0													
コーチ	渡邊 明美														
		46	4	23	16	40	2	2	17	7	11	15	10	3	18
		確率	17.4%		40.0%		100.0%			計 18					



戦評

第1P 山村学園はハーフコートマンツーマンディフェンス、作新学院はオールコートマンツーマンディフェンスでゲームがスタート。山村学園は速攻からゴール下で得点し、作新学院はドライブや3pなど、お互いの攻撃力の特徴を活かした展開で進んだ。ゲーム支配力としては、山村学園のインサイドアタックを作新学院が止められず29対16で山村学園のリードで終える。

第2P 作新学院のディフェンスが要所で効果を発揮するが、その勢いを山村学園も反応のいいディフェンスで得点を許さない。作新学院はハーフコートマンツーマンディフェンスに変え、#4、#6を中心に突破口を探すが、その僅かなオフェンスを山村学園のディフェンス陣が見逃さず、逆に速攻へと加点していく展開となった。50対24で第2Pを終了した。

第3P 山村学園がメンバーを入れ替えてきた隙について、作新学院がペースを掴む展開が目立つ様になるが、大量加点には繋がらない。お互いオフェンスミスが目立ち、突き放したい山村学園、追いつきたい作新学院共に第3Pだけの得点が13対13の同点となり、63対37で終了した。

第4P 作新学院の#4、#6を中心に攻撃に拍車をかけるが、山村学園とのリバウンドの差が埋められず、リードを許す。作新学院は1-2-2気味のゾーンプレスを敷き、#4からの合わせ、#6の3p等で追い続ける。作新学院#6の攻守にわたる活躍で粘りを見せるが、得点差の余裕から、控え選手を起用した山村学園が十二分に「らしさ」を出し82対46で勝利した。

記入者 前田耕一